



第18回 明治神宮外苑大学クリテリウム

Communiqué No.21

大会レースディレクター

アンチドーピング検査結果に基づく競技結果の訂正について

2024年3月10日に開催された第18回明治神宮外苑大学クリテリウムに関して公益財団法人日本仲裁機構より仲裁判断が2025年1月17日に公表されました。(JSAA-DP-2024-001)
この決定を受け、女子クリテリウムに関して競技結果を以下の通り変更します。

- ・着順第2位であった者(順天堂大学)を失格とし、表彰状、賞品の返還を求める。
- ・3位以降の競技者の順位は、順次繰り上がる。
- ・新たな上位3名の順位は下記の通り。詳細は大会コミュニケ改訂版を参照いただきたい。

1位	筒井 楓	山梨県立笛吹高等学校
2位	岩元 美佳	鹿屋体育大学
3位	宮本 奏穂	立命館大学
- ・新たに3位以内となる競技者により、表彰式を2025年2月23日に明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前において12時より再実施する。
該当者が表彰式に参加できない場合、同チーム関係者の代理出席可とする。
新たに2位、3位となる者への賞状・賞品はその場において行う。

公表された仲裁判断には「所属競技団体や所属大学においてアンチ・ドーピング教育を受ける機会は多くなかった」「申立人が所属していた順天堂大学自転車競技部ではアンチ・ドーピングの講習を受ける機会はなく」との記載があり、それを理由のひとつとして資格停止期間を決定していると読み取れます。

しかしながら、本連盟は自転車競技における高潔性の維持にむけたアンチドーピング活動に早くから取り組んで参りました。当該大会約2週間前となる2024年2月24日にも、アンチドーピング講習会をJCFと共同して実施していたところであります。当該講習会では医薬品の処方を受けるときに注意すべき事項など、今回のような案件に参考になるコンテンツが含まれていました。

当該講習会には複数の大学自転車競技チームが参加し、順天堂大学自転車競技部からも参加が参りましたが、本件当事者は参加していませんでした。

公益財団法人日本自転車競技連盟においてもオンデマンドで競技者が都合のよい時間に随時聴講可能な動画講習も提供されております。JADA アンチ・ドーピングeラーニング「FAIR PRIDE」を始め諸団体から多くのアンチ・ドーピング啓発ツールが提供されています。

また順天堂大学スポーツ健康科学部は全学生を対象としてアンチドーピング教育を実施している、と承知しております。

更に本大会は事前にアンチ・ドーピングコミュニケ発行による注意喚起が行われ、大会プログラムにアンチ・ドーピング検査場所が明記されている大会でした。

なお、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構から本連盟に対して事実関係の照会はありませんでした。

今回このような事象が発生し、この大会ならびに本連盟にご支援頂いている皆様の期待を裏切る結果となってしまったことにお詫び申し上げます。

改めて参加チームにアンチドーピング活動の徹底を図るよう周知徹底して参ります。

今回、アンチドーピング規則違反者を大会参加選手として送り出した順天堂大学自転車競技部には、今後の再発防止策を徹底することを強く望みます。

全ての加盟チームにおかれましては、所属選手の健康管理・アンチドーピング活動に一層の注意を払われるようお願いいたします。

以上